

- ・問題の作成上、一部省略した部分や、表現・表記を改めた部分がある。
- ・字数制限は、句読点や記号を含むものとする。
- ・答はすべて解答用紙に記入すること。

受験番号

(一) 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

森林を育てる仕事は、山に苗木を植える「植えつけ」からはじまります。苗木とは、種をまいたり、木の枝を土にさして根を出させる「さし木」によって、三十cmほどに育てた小さな木のことです。畑で育てます。苗木にまで育ててから植えつけるのは、山のきびしい自然環境なかでも生長できるようにするためです。

① 人の手で一本一本ていねいに植えつけた苗木が、その後順調に生長できるよう、さまざまな手入れをします。苗木が小さいうちは、まわりの雑草や自然に生えてくるほかの小さな木を刈る「下刈り」の作業が大切です。生長の早い雑草などが、苗木をおおい、太陽の光をさえぎると、苗木がうまく生長できないからです。

苗木があるテイドまで育つと、今度は幹に巻きつく植物のつるや、まわりにのびるほかの木の枝などが、生長をじゃまします。このため「つる切り」やまわりの木を切る「除伐」をおこないます。

木がさらに育つてくると、今度は質のよい木材をつくるための作業になります。木の下の方まで枝があると、幹が太った時、枝のつけ根の一部が幹にまきこまれます。(A)、材木にしたとき節ができて、そのあとが残ったり、穴があいたりします。また、下のほうの枝を残すと、幹の下のほうが太くなり、太さのそろったまっすぐな木になりません。そのため、下のほうを切り落とす「枝打ち」をします。

木の枝が太くなり、枝がしげつてくると、森のなかが混みあつてきます。このような森では、それぞれの木が太陽の光を求めて、上へ上へのびようとするので、ひよる長く細い木ばかりになります。そこで、木の数を減らすために一部の木を切る「間伐」をおこない、それぞれの木に太陽の光が十分あたるようにします。

間伐した木は、合板にカコウしたり、家具や割りばしなどの材料に使っています。木が十分に育つと、いよいよ木材として切りたおす伐採をおこないますが、伐採できるのは、苗木の から早くても三十から四十年後、木の種類や使う目的によって百年以上たつてからになります。(B) から伐採まで、同じ人の手によっておこなわれることは、ほとんどありません。林業は長い時間をかけ、人から人にうけつがれて、つづいていく産業なのです。

伐採した木は、枝を切り落とす「枝払い」、決まった長さに切りそろえる「玉切り」をして丸太にします。丸太は、タワーヤードというキカイでワイヤーをはり、これをつりあげて山からおろし、一カ所に集めます。枝払いや玉切りにハーベスターというキカイを使う場合は、伐採したままのジョウタイで集材し、あとで玉切りなどの作業をおこなうこともあります。

林道の奥など、自動車が入れるところまでキカイで運ばれた丸太は、トラックにツまれ、貯木場に向かいます。そこで、長さや太さによって分類された後は、原木市場または素材市場とよばれる市場で、丸太のままのジョウタイでせりにかけられます。

国産木材の約七十%は、柱や板などの製材品にカコウされていますが、製材業者やケンチク材料の会社などが、この市場で丸太を買い取り、製材品にカコウしているのです。

このほか、紙の原料のパルプに使われる木材や合板などにカコウされる木材も、貯木場から製紙工場や合板工場などに出荷されます。

〈ポプラ社「日本の農業」より〉

「大きな声でゆっくり読んでみる、と言った。
その子はあわてて

「いやま・・・と読んだ。やま、と聞こえた。

井山先生は

「いや、まあ、待て。

とおさえ、

「落ちつくんだよ。まちがえるな。い、や、ま、だ。さあ、もう一度！

「い、や、ま。

「そうだ。それでいけ。

そこではじめてニッコリとした。小麦色に日に焼けた顔のなかで、白い歯がひとならび、キラキラ光った。

「さて、はじめに言いたいのは、ひとことだけだ。だから決してワスれちゃいけないよ、それはね・・・」

「それはね、と井山先生はつづけた。「いつでも、ぼくの名前をワスれるな、ってことなんだ。」

こんどはみんな「E」とした。

「もう少しわしく言うかな。

先生は自分にたずねるように首をかしげて、それから話し出した。

「ぼくはおこりんぼうだ。いや、セイカク^Cに言うとおこりんぼうだった。子どもの時からやせつぼちで、そのせいだったかもしれん。やせつぼちは今でも変わらんが、おこりんぼうのほうは変わった。そのことを話そう。とにかくぼくは子どものころ、すぐおこりんぼうだった。友だちとかたっぱしからケンカした。いつも勝ったんだけど、とうとう相手がなくなっちゃった。ぼくは一人むすこだから家の中で兄弟げんかをやるわけにもいかん。ぼくはひとりぼっちになった。そのとき考えたんだ。いや、まあ、待てよ、とな。おこる前にちょっと待ってみる。口の中で十かぞえるんだ。たいていのことはこれ^⑤でガマンできる。それからぼくは変わった。みんな、はじめは信じられんふうだったが、そのうち「井山のいやまて」はユウメイ^Dになった。これだ。君たちもいるんな時に、いつもこいつを思いおこしてくれたらいい。男の子はゲンコツをふり上げた時、女の子は涙^{なみだ}をこぼしそうになった時にね。男のゲンコツ、女の涙、といって、これはどちらもカツときた時にでてくるやつさ。それをおさえる。そのためは、ぼくの名前を思い出すんだ。するとひとり出てくるんだよ。「いやま、いやまあまで・・・」と。

みんなクスクス笑った。

「いや、まで。

みんな、笑い顔を「F」ととめた

〈今江祥智 「山のむこうは青い海だった」より〉

問1 Aキリツ Bワス Cセイカク Dユウメイ を漢字に直しなさい。

問2 ① 背中にはりがねでもいれたみたいにシヤチホコばっていた は新入生たちのどのような様子でしょうか、説明しなさい。

問3 (1) に適切な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア 体育館 イ 家 ウ ろうか エ 近くのお店

問4 ② マッチ棒が背広を着たような のような表現方法を何と言いますか、ひらがな二字で答えなさい。

問5 (2) に適切な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

- ア おめでとうございました。
- イ よく来てくれました。
- ウ 元気でしたか。
- エ おはようございました。
- オ 今日は良い天気でしたね。

問6 ③ 十秒(□□)は、「約十秒」という意味です。(□□)に適切なひらがな二字を入れなさい。

問7 ④ 決して は「受ける部分に特別な言い方を要求する副詞」です。その特別な言い方にあたる部分をぬきだしなさい。

問8 ⑤ これ がしめす内容はどうか、書きなさい。

問9 ① 【A～Fに後ろの語群から適切なものを見つけ、番号で入れなさい。

- (1) クスクス (2) ぴたり (3) キョトン (4) ニコリ (5) ぴよこん (6) ポカン

問10 「井山先生」が新入生たちに伝えたいことは、どういうことですか、四十字以内で書きなさい。

問11 あなたが日常生活の中で、「自分の精神的な成長のために心がけていること」または「自分の精神的な成長のために気を付けていること」は何ですか。その理由とともに、全体を五十字以内で書きなさい。

(三) 次の各問いに答えなさい。

問1 次の各文の空白部に適切な身体の一部を漢字で書きなさい。

- ① この先の図書館まで () をのぼす。 ② じまん話が () につく。
- ③ ケーキには () がない。 ④ 彼は音楽界で () がきく。
- ⑤ 返事が来るのを () を長くして待つ。 ⑥ ごちそうを () をくわえて見ている。

問2 次のことわざの空白部に適切な言葉を書きなさい。

- ① () の背くらべ ② 犬も歩けば () に当たる
- ③ () に小判 () ④ ころばぬ先の () ()

・字数制限は、句読点や記号を含むものとする。

(一)

問 D	1 A
ろし	B
E	C
まれ	G

問 2 (1)
(2)

問 3		
その後	最初	
		目
		的
		手入れ（五字以内）

問 4

問 5 A
B
問 6
問 7

問 8
問 9

(二)

問 1 A
B
れる
C
D

問 2

問 3
問 4
問 5

問 6
問 7
問 8

問 9 A
B
C
D
E
F

問 1 0			

問 1 1				

(三)

問 1 ①
②
③
④
⑤
⑥

問 2 ①
②
③
④

受験番号

・字数制限は、句読点や記号を含むものとする。

(一)

問 D	1 A 程度	B 加工	C 機械
降ろし	E 状態	F 積まれ	G 建築

受験番号

①点×7

問 2 (1)種	を	ま	い	た
(2)山	の	き	び	し

問 3	その後	最初	
②点	質の良い木材をつくるため	苗木がうまく生長できるように	目的
			手入れ(五字以内)
③点	間伐	除伐	つる切り
	枝打ち		下切り

問 4	混み	あ	っ	て	い	る	森
-----	----	---	---	---	---	---	---

問 5 A	イ	B エ	問 6 植えつけ	問 7 丸太
-------	---	-----	----------	--------

③点 ②点

問 8 (原木)市場	製紙工場	合板工場	問 9 長	い	時
------------	------	------	-------	---	---

(二)

その他 ②点

問 1 A	起立	B 忘	れる	C 正確	D 有名
-------	----	-----	----	------	------

問 2	きんちようして、	背筋がまっすぐのびている様子	③
-----	----------	----------------	---

①点×4

問 3	ウ	問 4 ひ	ゆ	問 5 エ
-----	---	-------	---	-------

③点

問 6	ほ	ど	問 7 ない	③点	問 8 口の中で十かぞえること	③点
-----	---	---	--------	----	-----------------	----

問 9 A	(5)	B (1)	C (4)	D (3)	E (6)	F (2)
-------	-----	-------	-------	-------	-------	-------

①点×6

問 10	⑥点	前	あ	さ	カ
		を	、	え	ッ
		思	待	る	と
		い	て	た	し
		出	ー	め	た
		す	と	、	時
		こ	先	「	、
		と	生	い	心
			の	や	を
				ま	お
				名	

問 11	⑥点	点	要	か	の	「例」
		検	な	ば	で	「わ
		す	物	ん	、	た
		る	が	の	前	は
		こ	入	中	の	忘
		と	っ	を	日	れ
		。て	見	に	物	
		い	て	必	が	
		る	、	ず	多	
		か	必	、	い	

(三)

②点×10

その他 ②点

問 1	① 足	② 鼻	③ 目	④ 顔	⑤ 首	⑥ 指
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

問 2	① どんぐり	② ぼう	③ ねこ	④ つえ
-----	--------	------	------	------